

製品名: KDEL 受容体 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12960**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	KDEL2
別名	KDEL2; ERD2.2; ER lumen protein retaining receptor 2; ERD2-like protein 1; ELP-1; KDEL endoplasmic reticulum protein retention receptor 2; KDEL receptor 2
遺伝子 ID	11014.0
SwissProt ID	P33947
免疫原	抗血清はヒト ERD22 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

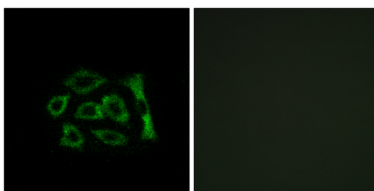
KDEL 小胞体タンパク質保持受容体 2 (KDEL2) Homo sapiens 酵母および動物細胞の両方において、小胞体 (ER) 内腔内の常在可溶性

タンパク質の保持は、シスゴルジ体またはプレゴルジ体区画からの継続的な回収によって達成されます。これらのタンパク質の選別は C 末端テトラペプチドシグナルに依存しており、動物細胞では通常 lys-asp-glu-leu (KDEL)、*S. cerevisiae* では his-asp-glu-leu (HDEL) です。このプロセスは、テトラペプチド含有タンパク質を認識して結合し、それを ER に戻す受容体によって媒介されます。酵母では、単一遺伝子 ERD2 によってコードされる選別受容体は、7つの膜貫通型タンパク質です。酵母とは異なり、KDEL 受容体遺伝子ファミリーを構成する ERD2 遺伝子のヒトホモログがいくつか報告されています。KDEL2 は、このファミリーで2番目に同定されたメンバーであり、KDEL1 遺伝子産物と83%の同一性を持つタンパク質をコードしています。選択的スプライシング機能：小胞体タンパク質の保持に必須です。小胞体タンパク質保持システムの特異性を決定します。また、ゴルジ体を通る小胞輸送の正常化にも必要です。この受容体は K-D-E-L を認識します。類似性：ERD2 ファミリーに属します。

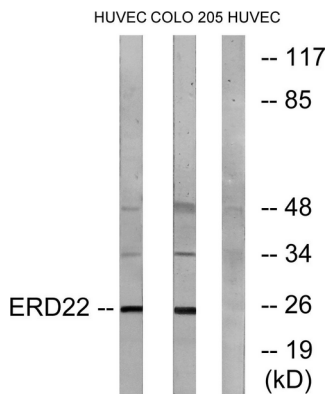
研究分野

コレラ菌感染症

画像データ



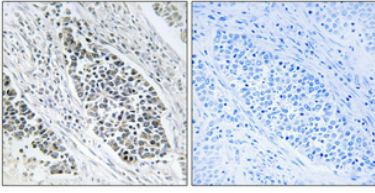
ERD22 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ERD22 抗体を用いた HUVEC および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



KDEL 受容体 2 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。